

館林市パブリックコメント募集結果報告書

募集案件		館林市ごみ処理基本計画（案）
募集期間		令和4年12月 1日 ～ 令和4年12月21日
募集結果	提出者数	2人
	意見数	4件
	提出方法内訳	郵送 件・FAX 件・メール 1件・直接 1件
市の対応状況		①反映させた意見数： 0件 ②反映させられなかった意見数： 4件
意見等の概要と市の考え方		
整理番号	意見等の概要	市の考え方
1	<p>集団回収事業について、月二回の資源ごみ回収日に出したり、スーパーの回収ポストに出したりするのにくらべて地域にどのようなメリットがあるのかわかりやすく例示する必要がある。また、地域毎の常時受け入れ拠点の設置や各町内の資源ごみ回収日に先んじた回収日程設定の工夫が必要と考える。これらを勘案し、年少者へのごみ教育を含んだ集団回収ボランティア参加を計画するのはどうか。</p>	<p>集団回収事業のメリット（助成金制度を含む）について、市民へ一層の周知啓発を行って参ります。</p> <p>また、集団回収事業に対する地域の声にも耳を傾けながら、内容の精査にも取り組んでいければと考えます。</p>
2	<p>ごみ回収の担い手が不足しそれに伴うコスト増は不可避と考えることから、ごみ回収業務は今後最も自動化（無人化）が図られる部分であり、市民が最も望むサービス（いつでもごみが出せる）を目指すことが可能。</p>	<p>ごみ回収の自動化については、既存のごみステーションの集約化・再配置を伴うことから、①大規模化に伴う駐車スペースを含めた用地の確保、②夜間排出における騒音、③高齢者・障がい者等のごみ出し困難者の増加、④利用者による排出ルールの遵</p>

	<p>それを目指すためのファーストフェーズとして次のような施策を提案する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会や遊休地などを利用し、屋根付きのゴミ収集所を設ける ・ゴミ収集所は基本的に腐敗する可燃ごみ以外はいつでも出せる形とする ・カメラやセンサーを設け API 化し一般的なクラウドから PUSH 型のチェックのできる仕組みを作る ・各ゴミの集積状況をクラウド上プログラムでセンサーや画像解析でチェックする ・回収車に対し上記情報より線形計算（≒巡回セールスマン問題）し回収指示をメール等で発報 	<p>守を担保する仕組みづくりなどの課題が想定されます。</p> <p>ごみ回収の自動化実用段階までの間は、既存のごみステーションの課題にも適用できる④利用者による排出ルールの遵守を担保する仕組みづくりを進めていきます。</p>
3	<p>可燃ごみの 15～20%程度は剪定などで出た草木類となっており、短期的に大きく再資源化が見込める部分と考える。</p> <p>草木類専用の回収ボックス等を設け分別し沸点以下で焼却することによって肥料3要素の一つカリウム回収が期待できる。基本的には草木類の硬質部分（枝等）をターゲットにし、乾燥して焼却し灰を JA もしくは農業試験場等に成分分析させ肥料として使えるか実証実験を行ってはどうか。</p> <p>また、熱回収（暖房や給湯）や排出 CO2 の施肥化も合わせて実施することで 2 次、3 次利用期待することができる。また、乾燥する場所として耕作放棄地（特にハウス）の有効利用やシルバー人材センター等活</p>	<p>ご意見のとおり、自然に還る草木類の焼却は課題であると認識しておりますが、焼却の場合は、ダイオキシン対策として、800℃以上での焼却が義務づけられています。</p> <p>また、現状の焼却処理において得られる余熱については、施設の暖房・給湯、近隣施設への余熱供給により、有効活用を図っておりますが、熱回収は最終的な活用方法とされており、草木類の処分については、土壌還元による発生抑制を推進すると共に、堆肥化などの焼却によらない方法による再資源化を優先すべきと考えます。</p>

	用することにより雇用の創出にも期待できるかと思われる。	
4	<p>分別やゴミ出し日などをアプリや市のサイトでPDF 開示しているが、もっと利用しやすい形で、公開すべき、本来であれば構造化データ（json-ld など）形式で WEBAPI 開示を望むところではあるが、日付データなどは事実上のスタンダードである ical 形式で、各種カレンダーに取り込めるようにしてほしい。</p> <p>安易に出来合いアプリケーションを導入するならば、仮に安価であっても KPI（利用 ID 数や頻度）を開示すべきで、開示できないならばその理由と選定理由も合わせてお願いしたい。</p> <p>なお、「館林ごみ処理基本計画」の数値も PDF でなくデータでの開示をしてほしい。</p>	<p>収集日や分別方法、本計画の数値に係るオープンデータ化については、希望される方が多いなど、市において必要に応じて検討していきたいと考えます。</p> <p>なお、ごみ分別アプリにおけるユーザー数の公開は可能です。</p>

素案修正概要

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由

問い合わせ：実施担当課名 地球環境課

電 話 番 号 0 2 7 6 - 4 7 - 5 1 2 6

F A X 番 号 0 2 7 6 - 7 2 - 3 2 9 7

E - m a i l kankyo@city.tatebayashi.gunma.jp